

どんな時でも頑張れる 3つの理由

第12期OB 北島 大輝

ご無沙汰しております、第12期の「じーまん」こと北島大輝です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私は㈱東芝に勤めております。昨年末に米国での原子力発電所の工期延期に伴い巨額減損をたたき出している会社です。来年度には、私の勤め先が変わるかもしれません。というのも、私の配属先は、メモリ事業部直属の部署であり、このメモリ事業部単体での株式会社を発足させる（分社化）という案が現実的になるからです（1/18日付の日本経済新聞を参照してみてください）。会社の経営状況を理由に、2年目から勤め先が変わってしまうという激動の時代を生きているような気がします。ボーナスもカットですし。

「なんでそんな会社に就職したんだよ！」「早く転職しろよ！」と言われることがしばしばあります。確かに私も同じようなことを思ったことがあります。しかし、もう少しこの会社（東芝のこと？分社化後の会社のこと？どちらでもよいので、使い分けません。悪しからず。）に籍を置いて頑張ってみたいという思いが私の心には強くあります。その理由は、3つあります。

1つ目は、素晴らしい人たちに囲まれているからです。私の業務内容は、NANDフラッシュメモリの生産管理です。この業務は非常に複雑であり、技術的な知識および生産管理の経験を要します。私はそれら2つを培っているという段階ですし、ミスもしてしまいます。部署に価値をもたらしてなんかいません。しかし、部署の方々は、「1年目だから気にすんな！」「3年間は勉強だよ！」という暖かい声を掛けてくれま



会社のボウリング大会にて（著者は最後列左から2番目）

す。なので、人に恵まれたこの部署に少しでも早く貢献したいと強く思っています。

2つ目は、業務が楽しいからです。先に述べた通り、メモリの生産管理は非常に複雑です。メモリと一口にいても、その種類は1万以上を超えるというのが実状です。メモリを生産する際に、技術面での様々な工夫が施されています。また、管理する際には、種類によって生産の流れや原価が異なることから、勘定面での様々な工夫も施されています。かくして、メモリの生産管理は非常に複雑です。しかし、一筋縄ではいかないからこそ、日々好奇心を持って業務に臨んでいるというのが実状です。

3つ目は、自分で選択した道をもう少し進みたいからです。私が内々定を頂いた時には、不適切会計の疑惑は既にありました（内定式後から今日に至るまでの間で原子力発電にて巨額減損が2度も起きるなんて...）。しかし、私はこの会社を選択しました。なぜなら、製品を通じて人々の生活を支えてきた会社であり、これからはその一員として人々の生活を支えていきたいと思ったからです。それは今でも変わりません。メモリの生産管理という形で、情報インフラを支えられるようになりたいと強く思っています。

会社は危機的な経営状況であり、ボーナスカットは翌年も行われるだろうけども、以上の3つから私はこの会社を去るには早すぎると考えています。もっと言えば、私はこの会社をまだ愛せていますし、こういう状況だからこそ腐らずに頑張らなければならないと考えています。収入も大事だけれども、それよりも大切なことは、私が先に挙げた3つをはじめとして、多くあるはずで、第13期や第14期、まだ見ぬ後輩諸君には、就職先の会社で多くのそういった大切なものに巡り会って欲しいと思います。

以上、後輩思いの優しい先輩「じーまん」こと北島大輝からのメッセージでした！

P.S. 後輩諸君、なにか困ったら、オレに相談しろよな！



1カ月に及ぶ四日市工場での製造現場実習を無事に終えた著者（著者は1番左）